

# やひこ 議会だより

178号

平成27年7月24日

弥彦村議会

〒959 0392 新潟県西蒲原郡弥彦村矢作  
TEL (0256)94 3131(代)  
TEL (0256)94 1028(直通)  
FAX (0256)94 3216  
<http://www.vill.yahiko.niigata.jp>  
Eメール:gikai@vill.yahiko.niigata.jp



ガンバレ!ちびっこ消防隊

6月定例議会

議会の新しい顔ぶれ ..... P3

横綱日馬富士奉納土俵入り(一般質問)..... P10

今後のヤホールの活用は(一般質問)..... P12

プレミアム商品券の発売は(弥生さん)..... P14

# 第31代議長に武石雅之氏

## 議長就任のご挨拶

弥彦村議会議長

武石雅之（4期）



村民の皆様、いつも村議会に強い関心をお寄せいただきありがとうございますこと、心より感謝申し上げます。

さる5月12日の初議会において、多数の議員からご推挙を頂き、第31代議長に選任され身に余る光栄に心から感謝を申し上げます。その重責を強く感じ身を引き締めて務めさせていただく所存です。

年明け早々の1月に行われた村長選挙では、過去3代32年にわたる無投票当選阻止を掲げた、新人の小林豊彦氏が大きく勝利を収められ、2月23日より新体制がスタートいたしました。

4月の統一地方選挙の村議会議員選挙では、村長選挙の余韻が残るなか、4年前の前回が無競争であったことも反映してか、新人候補者4名が立候補され、久しぶりの熱い選挙戦となりました。結果につきましても承知のとおり、

現職7名に新人3名が加わることとなり、改選前より新鮮な陣容となりました。

今定例会では一般質問を始め、総括質疑や常任委員会で、先輩議員に負けることなく活発に質問するなど、大変頼もしく、今後の更なる活躍が期待されます。

本村に限らず地方自治体議会においては常に活性化が求められております。議員として住民の皆様様の様々な要望や有意義なお考えを積極的に聞き取りながら、これを村政に反映させる努力を重ねていくことで、議員活動へのご理解をさらに深め、信頼をいただくことが活性化の原点と考えます。

また、議員同志互いに研さんし村政の発展、繁栄に寄与すべく努力してまいります。

村民の皆様のご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。任の挨拶といたします。

# 議会のあたらしい顔ぶれ



小 熊 正

3 期

厚生産業常任委員長

安心、安全な社会と若い人達の子育て、環境づくりに地域と行政のパイプ役を目指してまいります。



石 川 守

7 期

総合計画審議会委員

弥彦村の観光・農業施設はある程度整備されているので、あとは関係者のアイデアを引き出せるよう努力していきたい。



赤 川 幸 子

5 期

副 議 長

「一人を大切に」「現場第一主義」をモットーに、女性の視点で、住みよい村づくりを目指してまいります。



安 達 丈 夫

2 期

競輪特別委員長

明るく住みよい弥彦村をさらに住みよくするために、地域の皆さんと村行政とのパイプ役に努めます。



本 多 隆 峰

3 期

総務文教常任委員長

住み良い村づくりのため村民の意見を反映させたい。若い世代に議会に関心をもっていただくよう努力してまいります。



阿 部 正 秀

3 期

監 査 委 員

民意を行政に反映するパイプ役として、村民の皆様から身近に感じて頂ける議員活動に努めてまいります。



板 倉 恵 一

1 期

競輪特別副委員長

明るい活気あふれる弥彦村にするため、皆さんの声を議会に届けられるようがんばります。



田 中 満 男

1 期

総務文教常任副委員長

村民のみなさんの声を、村政に反映させて「より良い弥彦村にするため」議員活動がんばっていきます。



柏 木 文 男

1 期

厚生産業常任副委員長

初心を持ち続け、弥彦村の発展と村民の福祉向上と融和を願い行政との橋渡しを目指し努力してまいります。



# 弥彦村議会役職一覧表

◎委員長 ○副委員長（平成27年5月12日現在）

役 職 名			役 職 名			
正副議長	議 長	武 石 雅 之	一部事務組合議員	西蒲原福祉事務組合 議会の議員	武 石 雅 之 小 熊 正	
	副 議 長	赤 川 幸 子		燕・弥彦総合事務組合 議会の議員	阿 部 正 秀 本 多 隆 峰	
常 任 委 員 会	総務文教委員	◎本 多 隆 峰		そ の 他 の 委 員 会 等 の 委 員	新潟県後期高齢者医療 広域連合議会の議員	武 石 雅 之
		○田 中 満 男	県央土地開発公社 の 理 事		武 石 雅 之	
		武 石 雅 之	農業振興地域整備 促進協議会委員		安 達 丈 夫 田 中 満 男	
		石 川 守	都市計画審議会委員		本 多 隆 峰 板 倉 恵 一	
	厚生産業委員	◎小 熊 正	◎小 熊 正		観光開発審議会委員	小 熊 正 柏 木 文 男
		○柏 木 文 男	○柏 木 文 男		温泉審議会委員	赤 川 幸 子 田 中 満 男
		赤 川 幸 子	赤 川 幸 子			板 倉 恵 一
		阿 部 正 秀	○安 達 丈 夫		国民健康保険運営 協議会委員	安 達 丈 夫 柏 木 文 男 板 倉 恵 一
	委 員 会 運 営	議 会 運 営 委 員	○本 多 隆 峰		社会教育委員	本 多 隆 峰
			安 達 丈 夫		(一般財団法人) 弥彦サイクリングパーク (理事・監事)	(理事) 小 熊 正 (監事) 本 多 隆 峰
特 別 委 員 会	競 輪 特 別 委 員	○板 倉 恵 一	下 水 道 受 益 者 負 担 金 制 度 検 討 協 議 会 委 員	石 川 守		
		(全議員が特別委員)		柏 木 文 男		
	議 会 広 報 特 別 委 員	◎本 多 隆 峰		阿 部 正 秀		
		○板 倉 恵 一		田 中 満 男		
行 政 委 員	監 査 委 員	阿 部 正 秀	廃棄物減量等 推進審議会委員	石 川 守		
		安 達 丈 夫	文化芸術振興 審議会委員	本 多 隆 峰		
	農 業 委 員	安 達 丈 夫	総合計画審議会委員	石 川 守 安 達 丈 夫		

# 6月定例会

6月9日～19日

平成26年度一般会計及び特別会計補正予算、村会一致で可決、同意しました。  
税条例の改正など10件の専決処分と、平成27年度一般質問では、4人の議員が、観光、バイオマ  
一般会計補正予算、村税条例の改正、人権擁護委  
員候補者の推薦について、村長から提案された計  
又発電、防災など、村政に対する質問を行いました。  
15議案を慎重に審議し、いずれも原案のとおり全  
た。

## 6月定例会で決まったこと

### 平成26年度補正予算(専決処分)

一般会計  
3425万6000円を追加し、  
総額を38億9848万6000円とする。

・土木費  
道路新設改良費 560万円  
・消防費  
常備消防費 734万円  
・予備費 1億580万円

国民健康保険特別会計  
2402万8000円を追加し、  
総額を9億695万8000円とする。

歳入の主なもの  
・法人村民税 1840万円  
・固定資産税 660万円  
・地方消費税交付 883万円  
・国庫補助金 200万円  
・不動産売却収入 706万円  
・雑入 225万円  
歳出の主なもの  
・民生費 654万円  
・社会福祉総務費 768万円  
・障害福祉費 439万円  
・商工費  
観光費

後期高齢者医療特別会計  
246万2000円を減額し、  
総額を6336万6000円とする。  
介護保険特別会計  
415万3000円を減額し、  
総額を8億147万6000円とする。  
温泉事業特別会計  
42万9000円を追加し、  
総額を2580万1000円とする。

### 条例の一部改正(専決処分)

水道事業会計  
収益的支出の予定額に、546万  
5000円を追加し、総額を2億1  
078万6000円とする。

職員の給与に関する条例  
村税条例  
国民健康保険税条例

### 平成27年度補正予算

一般会計  
2581万8000円を追加し、  
総額を36億1581万8000円と  
する。

歳入の主なもの  
・国庫補助金 2394万円  
・雑入 120万円  
歳出の主なもの  
・総務費  
財産管理費

### 条例の一部改正

国民健康保険税条例  
介護保険条例

企画費 536万円  
・民生費  
社会福祉総務費 1529万円  
子育て支援事業費 144万円  
・農林水産業費  
農業振興費 150万円  
水田農業構造改革推進事業費  
・教育費  
学校教育費 349万円  
予備費 1261万円  
総合文化会館費 720万円

### 人権擁護委員候補者の推薦

ふじさわ しんじ  
藤澤 眞 璽 氏(矢作)  
の推薦に同意しました。

# 総括質疑

6月12日

26年度補正予算

道路除雪費の増額

田中議員 地方交付税補正の内訳は。

総務課長 地方交付税は、普通交付税と特別交付税に分かれます。普通交付税の総額は年度によって異なるが、総額の5〜6%程度が特別交付税に回される。風水害とか雪害等の災害対応のため、地方に交付される性格のもので、通常12月と3月に交付される。今回は道路除雪の増額補正である。

田中議員 臨時バス委託料が減額になっている訳は。

総務課長 年度末に精算調整での減額です。

田中議員 国土調査費が減額になっているがその理由は。

建設企業課長 請負入札で差

額が出た分、調査は計画どおり進んでいる。

田中議員 消防設備で消火栓およびホース等設備の事前点検を定期的に行う。

総務課長 ご指摘のとおり検討します。



安心・安全 常に点検を



A E D 取扱講習会に参加しよう

今年の冬は暖冬

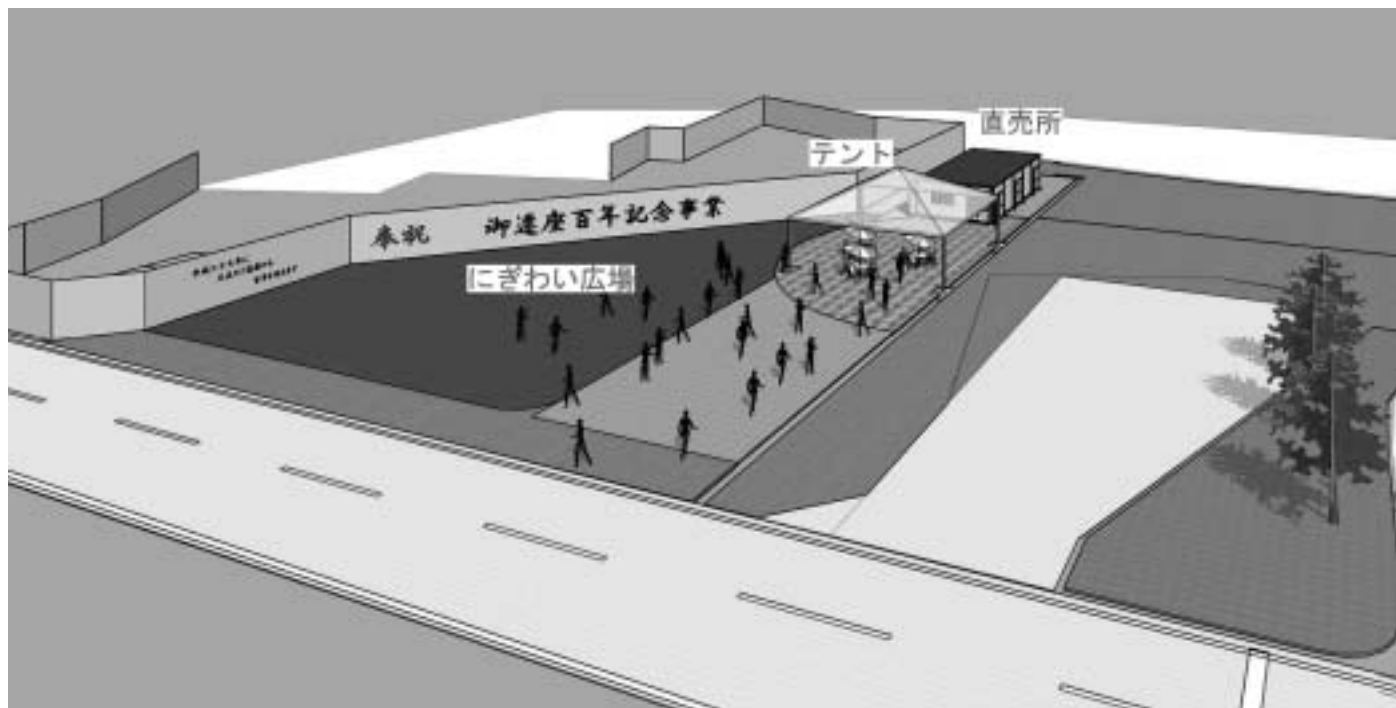
A E D の取り扱いは

小熊議員 雪害対策費減額の内容は。

建設企業課長 除雪の稼働日数が少なく、除雪機械の修繕力所が少なかった。消耗品のタイヤチェーンの購入も2台分であり、179万円の減額となった。

小熊議員 公共施設 A E D 賃借料の今回の設置箇所はどこか。新規入れ替えなのか。

また、取扱いの訓練予定は。総務課長 設置箇所は3カ所サンビレッジ弥彦、弥彦村役場、弥彦中学校である。リースで入れ替えた。実際にあっても使えないと困るので、職員訓練状況確認して講習会等を検討したい。



おもてなし広場（イメージ図）

27年度補正予算

給付金の開始は

赤川議員 社会福祉給付金一人6000円と、子育て世帯給付金一人30000円の申請方法と支給開始は。

住民福祉課長 両方とも申請書は、昨年と同様該当者に通知する。また、支給は10月開始である。

福祉給付金は9月から、子育て世帯給付金は6月から申請書を受付ける。

公共財産購入費

安達議員 802万2000円は、グランドホテル跡地の隣で一般の方の所有地788㎡を購入という説明であるが、この場所はどこか。

総務課長 単価は、㎡単価7840円。跡地北西の隣接地である。

安達議員 弥彦交番の上に住宅があるが、今後交渉されるのかどうか。

総務課長 今後、全体的な計画の中で、話や交渉を考えているが、相手のこともあるので具体化していない。

マイナンバー制度

柏木議員 企画費で社会保障・税番号システム委託料でマイナンバー制度が始まるが、年金情報流出もあり村の住民登録を危惧している。

住民登録システムを民間委託しているが、漏えいが心配である。

住民福祉課長 直接インターネットと接続していないので基本的には漏えいの問題はない。「なりすまし」が問題だが必ず本人確認をしている。「代理人」は身分証明書を提出してもらっている。

条例一部改正

「国保税」7%引き上げ

阿部議員 国保運営協議会からの答申案どおりの税率改正とのことだが、もう少し緩やかな引き上げにできないか。また、一世帯当たりの引き上げ金額はどれくらいか。

税務課長 平成30年度から国民健康保険の運営が各都道府県単位になる。新潟県の平均保険料と比べると、本村は14%低いのが急激な引き上げを避け、今回7%をお願いする。しかし医療費が著しく伸びており、今後の運営も難しい状況ではと危惧している。世帯当たりの金額については資産割の廃止により、個人差があり一概に言えない。



付託された案件、補正予算2案件、条例改正1案件は、全会一致で承認、可決しました。

主な質疑事項

26年度補正予算

問 消火栓ホース等の消火器具のメンテナンスが必要では、初期消火の操作訓練の実施を行うべきでは。

答 消火器具のメンテナンス及び、初期消火への体制作りを進めていく。

問 奨学金償還収入の減の内訳は。また、未償還への対応は。

答 1人の償還金未納分による減額である。未償還に対しては督促状、連帯保証人に連

絡するなどの対応をしている。

27年度補正予算

問 中学校の臨時用務員採用が5月からとなった理由は。

答 3月の広報やひこで募集、4月で採用を決めたため。

問 AED操作を一般の方でもできるように訓練、講習会の必要があると思うが。

答 消防署と協議し、講習会等開催する場合は、広く村民に周知する。

付託案件外

問 小中学校のゲームやテレビを見る時間が長く、自学の時間が短い。学力低下が心配されるが。

答 小中学校ともに、学年や教科によって全国平均を下回る事例がある。実態の把握、

授業改善を行うなど家庭学習の習慣化と学力の定着を図りたい。

問 小中学校の学級数の中で自閉情緒及び知的障がい者の人数は。介助員の社会保険加入について。

答 27年度小学校では知的障がい者5名、自閉情緒5名、中学校では各々6名、3名で

ある。介助員の保険加入はない。

問 総合文化会館の耐震構造診断後、諮問委員会を開催し、その存続について検討するとされていたが。

答 主要構造部は耐震性能を有しているが、診断対象外の大ホール、ホワイエの天井などの状況調査、空調設備の修

繕工事の必要経費を調査し、諮問委員会を開催したい。

問 土砂災害の危険区域についての説明会の内容は。

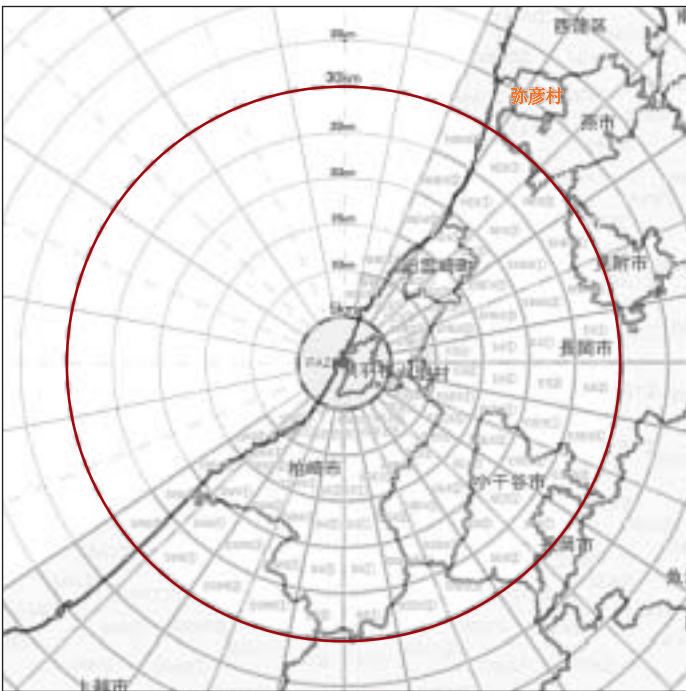
答 昨年の9月は麓など6地区で三条地域振興局職員より、土砂災害法の概要、土砂災害警戒区域の範囲の説明を受けた。今年6月は矢作、井田、

中山の区長さんに現地調査の立ち入りについてお願いした。

問 原子力災害対策について、弥彦村は柏崎刈羽原発から32km余りに位置するが、30km圏内での対応をするのか。避難先の協定は一カ所では少ないと思うが。

答 村としては30km圏内の避難準備区域として対応する。今年中に原子力災害訓練を実施する。

避難先の協定は県内外含め検討したい。



弥彦村は32km余りに位置する



付託された26年度補正予算7案件、27年度補正予算1案件、条例改正1案件は、全会一致で承認、可決しました。

主な質疑事項

26年度補正予算

**問** 老人福祉給付金と子育て世帯臨時特例給付金について給付対象者の抽出委託料、94万円と46万2000円の内容と給付者の人数は。

**答** 所得の状況が昨年と変わっているため、給付対象者の抽出委託である。老人福祉給付金対象者は1100人で子育て世帯臨時給付金対象者は1170人を見込んでいる。

付託案件外

**問** 桜井郷温泉と湯神社温泉の湯量、使用料、足湯の状況は。

**答** 桜井郷温泉は2カ所です。119<sup>3</sup>m<sup>3</sup>、1590万8166円の収入で湯神社温泉は11カ所で34884<sup>3</sup>m<sup>3</sup>、735万365円の収入である。足湯は通年でなく春と秋の観光シーズンに、ヤホール脇に設置する。

**問** JR弥彦駅が開業100年を迎える。100年事業で村とJRの取り組みは。

**答** JRは100周年記念イベントを計画中であり、村としても神社の御遷座百年とあわせて協力していきたい。

**要望** 目玉になる事業を計画して特産物売るなどとして観光の誘客に努めてほしい。

**問** プレミアム商品券、プレミアム旅行券の発売状況と旅行券の販売先で県外と県内の

比率は。

**答** プレミアム旅行券は5月連休後に発売し、すでに完売である。発売先は県外が5割、県内が4割、村内が1割であった。プレミアム商品券は8月1日より発売である。

**問** 黒滝ダムの強度調査状況は。

**答** 現在の気象状況にあった数値での安全確認が必要と考えているので、県に調査を依頼したい。

その他、菊の生産、道路のパトロール、高齢者支援センターの状況、子育て、街灯関係の質問がありました。



100年を迎える弥彦駅

# 伊勢ヶ濱部屋夏合宿誘致は 木質バイオマス発電の見通しは

村長 = 相撲取りの浴衣姿、夏の風物詩に  
中越よつば森林組合に調査依頼



田中満男議員



実行委員会設立総会

質問 今年には彌彦神社御遷座百年の記念事業で8月に、横綱日馬富士関の奉納土俵入りが行われ、伊勢ヶ濱一門による公開稽古も予定されている。この事業をきっかけとして、来年からの巡業夏合宿を弥彦で実施されたら、経済効果も期待され弥彦の活性化にもつながり、夏の大きな観光の柱に育てていくべきと思うが、村としての考え方、取り組み方は。

村長 主に3つの取り組みを考えている。1つ目は、相撲合宿の誘

致。メインは伊勢ヶ濱部屋夏合宿であり、併せて大学等の合宿も誘致していく。2つ目は、力士による施設・保育園・学校等への訪問をとおして、地域住民との交流を深める。3つ目は、相撲大会の開催で相撲連盟、弥彦神社と協力しながら、より一層大きな大会にできるようにしたい。

質問 6月5日に実行委員会の設立総会が行われ、来年度以降の夏合宿の誘致にむけて進

んでいるが、実行委員会だけではできない問題だと思う。実行委員会と後援会は別組織だと思うが、彌彦神社も含め双方の協力が必要不可欠である。もつと輪を広げ取り組んでほしい。越後伊勢ヶ濱部屋後援会が弥彦、三条他県内にあるが、現在会員は何名程なのか、実行委員会のメンバー構成は。

村長 後援会は1000人程と伺っている。実行委員会は、弥彦村の他、商工会、教育委員会、体育協会、西蒲土地改良区等入っている。

相撲を通じて弥彦村の振興発展などを図る事業で、村として予算化も検討しなくてはならない。御遷座百年事業の一環であり、土俵場開きが済んでから、具体的な取り組みに入りたい。

質問 木質バイオマス発電調査委託料として、200万円が計上されているが、委託業者はどこで、調査経過は。これからの見通しはどうか。持続可能な長期的な事業計画および費用対効果の望めるものでなければ、村の財政強化どころか、財政悪化になる可能性が懸念される。調査結果にもよるが、再検討も必要かと思う。

村長 この事業については、最終的な事業費が大きくなること予想され、失敗が絶対にできない事業であると認識している。昭和36年以降、弥彦山、村行林の管理運営を行っている、村とも関係の深い中越よつば森林組合に、これから折衝を始める。1年かけてその質量、資源量を調べてその上でいろいろ検討したい。残念ながら今すぐ議員にお示しできる資料はないが、事業実施にあたり、議員の皆さんに事業方針を説明し、取り組みたい。



板倉 恵一 議員

## これからの観光客の見込みと 横のつながりのある活性化プロジェクトを

村長 = リピーターにつながるよう検討したい



キャラクター認定授与式

質問 今年4月から来村のお客様とこれからの見込みは。

村長 平成26年度は、263万4000人、平成27年度の確定値はないが、4月16万3000人、5月24万7000人、2カ月間で合わせて40万9000人が来村。今後の見込みとして、彌彦神社御遷座百年事業がこれから目白押しなので、最高の観光客が見込まれる。

村長 行政として、お客様がもう一度リピーターになるよう検討したい。

ただ一つあるのは、グラントホテルの跡地を活用した活性化だけである。

そこにつながるヤホールこの二つしかない。彌彦の観光に、もう一度来ていただきたいことをこれから真剣に検討したいと思っている。

質問 弥彦村を訪れた人から、目の地までどう行けば良いのかという話しも聞いている。

村長 現在も各団体との連携調整は、積極的に行っている。それぞれの団体の活性化が図られることが先決と考える。そのために、できるだけ会議に出席し、膝を交えて話をしたい。組織横断的なプロジェクトも必要と判断した場合は、実現させたい。

JR弥彦線百年の、記念事業についても、今までは、村も商工会観光協会も何もやってきていない。秋以降、活性化するため、皆さんと力を合わせてやるような組織をその都度作って行きたい。

う話しも聞いている。

曲がり角に現在地を示したマップ、お土産マップなど出来ないか。

併せて弥彦村のキャラクターに認定された「もち うさぎ」を活用したマスコット人形、お菓子等で宣伝が出来ないものか。

村長 弥彦町歩きマップ等、利用形態に応じて活用いただいているが、現在地を示したマップ等については、財政的な部分を含め検討する。「もち うさぎ」



## ヤホールの今後の活用について



本多隆峰議員

### 村長 = 避難施設の機能を維持しつつ 民間企業にまかせたい



今後の活用に期待したい

質問 ヤホールは災害時の避難所で、よく内容を精査し使い方を考えたいとのことでありました。今後の使用方法は。

村長 避難施設の機能を維持したままの利用形態を考えている。入口の開閉は観光案内所に委託し、普段は公園にいられた方の休憩所とし、観光振興のためのイベント会場として村の利用のほか、条例に基づき貸し出しを行いたい。

質問 NPO 弥彦観光（以下NPOと略す）は、効果を上げていな

いと管理委託契約をやめたが、その根拠は。

村長 年間130万円の委託料に比べ費用対効果というビジネス的な視点で申し上げたもの。防災機能を優先するという観点からも運営方法に疑問があると考ええる。

質問 NPOによると、平成26年度は1万1000人、4月から6月の3カ月間で1万2000人、喫茶部門も5000人余の利用があった。

村長 NPOはよくやっていただいたと感謝申し上げます。しかし、真の活性化のためには、非営利団体でなく民間企業でやるべきと考える。これからのヤホールの活用には、NPOも含め、村、商工会、観光協会、神社、消防署、JANA

ど多くの知恵を借り活性化を図る

ための協議会を立ち上げ、村民の皆さん全体で考え、6月定例会後その方向で動きだしたい。

質問 農業と観光の一体化、農業の6次産業化について、弥彦村での取り組みは。

村長 農業と観光の一体化は、JA 弥彦支店と旅館組合が連携し、稲刈り、枝豆、ハウス苺の収穫体験ツアーが継続されており、行政としてできる限り支援をしたい。

6次産業化については、弥彦村ではこれからの取り組みと考える。直売所、農産加工、農家レストランは、おもてなし広場整備事業の中で実現したい。

質問 地方創生の気運が高まる折、地方自治体で総合戦略を策定することになったが、策定における基本的な考えは。

村長 この地方創生における総合戦略は、弥彦村の方向性を決めると考える。交付金はその効果と検証を求められるので、知恵と情熱が勝負と理解している。村で骨格をつくり、皆さんに示し、ご意見を伺わせていただきたい。



安達 丈夫 議員

## 福祉拡充計画と子育てファンドは

村長 = 高齢者保健福祉計画など5種の福祉計画を改訂した。  
福祉サービスの充実、経済的支援を図る。



障がい者への支援のひとつ 福祉車両

障がい者紙おむつ支給事業、通院・買い物などの外出支援サービス事業などを実施し、経済的な負担軽減を図りたい。  
子育てファンドは、具体的な取り組みはこれからで、弥彦村子ども・子育て会議の構成メンバーに、小学校就学前の子どもの母親枠を追加して、子育てファンドの用途を審議して行きたい。

質問 本村も人口減少、高齢者の割合が増え、高齢化社会が深刻になるうとしている。  
消費税や健康保険税などが上がり、年金のみの生活者も多く、今後の生活が心配な高齢者が多いと思う。  
村長は、子育て支援や高齢者福祉の充実に取り組みと述べられている。高齢者や障がい者が健康な生活を送られるために、社会保障や介護など多様な支援が必要ではないか。

これからの弥彦村福祉拡充計画と障がい者施策実施並びに子育てファンドの具体的な計画と取り組みを伺う。  
村長 弥彦村でも着実に高齢化率が高まっている状況。  
高齢化社会に向けた対策が喫緊の課題と考える。  
高齢者の多くは、年金のみで生活されていて、増加する経済的な不安を軽減するために、今後も給付や災害等の緊急通報体制支援事業、寝具乾燥消毒サービス事業、

### 国からの交付金

質問 国は、地域包括ケアシステムの構築をする計画で、生活の支援、介護予防サービスの充実、高齢者の社会参加などに27年度の国家予算は、11倍の54億円が計上され、国の包括支援システム導入で仕事量も増え、現在の職員数では住民サービスの低下が考えられる。  
住みよい弥彦村にするために高齢者や障がい者への支援、福祉はどのようにされるのか。

村長 来年度には包括支援が具体化し、人員増員もしたい。そのためにどんな手順で行けば良いのか、下期にかけて実施したい。  
高齢者福祉、障がい者介護は、待ったなしで、弥彦村だけが他の市町村に比べ劣らないようにしていきたい。

# 8月1日発売!! プレミアム商品券

弥生さん こんにちは。

6月議会の傍聴者があふれていたそうですね。

ギカイ君 本当に多くの方が来られていましたね。

弥生 そうですか。私も行きたかったですね。

ですね。

弥生 ところで、5月11日にプレミアム旅行券が発売にな

ったけどギカイ君買った？

ギカイ 忙しくてなかなか行けなくて、6月15日によやく行つたけど、残念ながら売

り切れでした。

弥生 残念でしたね。でも、8月1日から今度は、プレミ

アム商品券が出るそうですね。

ギカイ そうなんですよ。地域経済の活性化を図るため、

20%のプレミアムを付けた商品券を7000万円で購入して8400万円分の利用ができますよ。

弥生 どんな商品券ですか。

ギカイ 1枚1000円券が12枚綴りで、1万2000円の買い物ができますよ。但し、

少しでも多くの人から利用していただきたいので1人5冊までですよ。

弥生 誰でも買えるんですか。

ギカイ 誰でも購入できますよ。商品券は、8月1・2日

は、ヤホールとひらせい弥彦

店で、午前10時から午後5時

まで。8月3日からは、平日のみ商工会館で午前9時から

午後5時まで販売です。

弥生 いつまで使えるの。

ギカイ 8月1日から来年の1月20日まで約半年間です。

弥生 どこのお店でも使えますか。

ギカイ 取扱店に登録してあるお店です。

弥生 何か目印はあるのですか。

ギカイ ポスターや、のぼり旗を店頭に出し、よく分かるようにしてあります。

弥生 何でも買えますか。

ギカイ 基本的にはお店にあるものなら何でも良いですが、

ビール券、プリペイド・カード、それに公共料金の支払い

もだめですね。それとおつりは出ません。

弥生 1万円、1万2000円分使えるんですね。この

7月から色々な商品が値上がりしているの、とても嬉しいですね。

ギカイ そうですね。ぜひ利用してください。

弥生 何を買おうかな・・・

今から楽しみですよ。

今日はどうもありがとうございました。



ギカイ やはり多くの傍聴者が、来られると議員もハッスルして活発な議会になりますね。

弥生 それはすごい。毎回満員だと議会も活発になりますね。

ギカイ これからが楽しみです。



# 全国町村議会議長・副議長研修会報告



5月26・27日の2日間にわたり、全国の町村から議長、副議長が参加して、中野サンプラザホテルで開催されました。

研修会1日目は、「地方自治の母国に負けない我が国の町村議会」と題して、帝京大学経済学部、内貫滋教授の基調講演があり、続いて「これからの町村議会を考える」についてのシンポジウムが行われました。

2日目は、「日本の健康の鍵は農村・漁村が握る」については農村・漁村が握る」について、関西大学政策総学部、白石真澄教授の講演と、「地方創生と政治・経済の展望」について、読売新聞本社、青山彰久編集委員の講演があり、実のある2日間でした。

# 県町村議会議員研修会報告



5月21日新潟県自治会館において、新潟県内の町村議会議員が一同に会して、議長会主催による研修会が行われました。

読売新聞東京本社編集委員青山彰久氏による「試される地方自治、問われる首長と議会」として、地方創生に向けて、まち・ひと・しごと（長期ビジョン）と（総合戦略）における議会の関わりの重要性について講演が

ありました。

続いて、ジャーナリスト富坂聰氏による「日本人の知らない中国の現実」では、中国経済の実態と、今後の日中関係はどうあるべきかの講演でした。

身近な財政問題から、国政、外交と幅広い分野での研修となり、参加議員は熱心に聞き入っていました。

# 総務文教常任委員会視察報告

6月11日、神苑整備事業（彌彦神社御遷座百年記念事業）の進捗状況と第70回新潟県美術展覧会（県展）を視察しました。

神苑整備事業では、「相撲場」「弓道場」「みずほ館」の工事概要説明後、工事現場を視察しました。

工事期間中は関係者以外立ち入り禁止ですが、貴重な機会であり、各委員も積極的に担当者へ質問するなど、完成後の利用に期待していました。

その後、朱鷺メッセに移動し、ウエーブマーケット会場で県展を視察しました。今年の県展には、弥彦村から5名の受賞者がおられ、その作品を探しながら、多くの力作を鑑賞しました。



神苑整備事業視察

## 5月臨時会

5月22日

平成27年第4回5月臨時会が、開かれま  
した。

村長から提案された、契約締結一案件は  
原案どおり、全会一致で可決しました。

### 臨時会で決まったこと

- 除雪ドーザ（11t級）購入契約の締結
- 除雪ドーザ契約金額 2095万円

### 除雪装置の新しい機能

アングリングプラウに両サイドシャッターを取り付けることにより、住宅地、交差点など除雪の際の雪こぼれが最小限に防止できます。



## あとがき

地方自治体にとっては、高齢化社会、人口減少問題はその存続を左右する大問題である。「消滅自治体リスト」が公表され、より波紋が増している。

地方創生のもと、自治体にとっては総合戦略を示さねばならない。27年度より小林新村長になり、今後の弥彦村をどのようにされるのか就任早々難しい課題に直面したとも言えるが、その分村長への期待も大きい。

本定例会は4月選挙で当選した新しい顔ぶれで望んだ。議会も新体制で一体となり地方創生に取り組みたい。

(H)

発行責任者 武石雅之

編集委員会 本多隆峰 柏木文男

田中満男 板倉恵一

印刷所 弥彦村 イナバ印刷